

東日本大震災は、豊かさと平和の中で、
当たり前と思っていた生活のすべてが、
実はかけがえのない、
ありがたいものだったことを私たちに痛感させた!

失われたいのちへ誓う

東日本大震災が教えたこと

「いまありがたい…。それは、被災地で幾度となく耳にした言葉だった。震災から100日。法要の中で語られた言葉…。「自分たちの手でふるさとを取り戻します…。それは、悲しみを乗り越えて、もう一度この土地に生まれたい…。そう思える国、地域、社会をつくろうという、失われたいのちへの誓いの言葉だった…。」



上映時間20分 [C#7499]

DVD・VHS 69,300円(本体66,000円)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

失われたいのちへ誓う

東日本大震災が教えたこと

企画 意図

東日本大震災は、豊かさや平和の中で、当たり前と思っていた生活のすべてが、実はかけがえのない、ありがたいものだったことを私たちに痛感させました。人と人の絆、一人ひとりのいのちを大切に生き方を私たちはしていたのか。水・電力・食糧…それをありがたいと感謝していただけるか…。この作品は、被災した人々、震災によって多くを失った人々の声を紹介しながら、私たちのいまを振り返り、震災後のこれからをどう生きるかを共に考える「いのちの教育」教材です。

内容

＝当たり前の日々が失われたとき…＝

平成23年(2011年)3月11日、14時46分18.1秒。巨大地震発生。その約30分後、巨大津波が東日本沿岸部を襲った…。死者・不明者23000名以上。重軽傷者5000名以上。震災で直接被害を受けた家屋38万世帯以上。そして原発事故…。

被災した宮城県石巻市、福島県いわき市の被災映像、被災現場に残されたアルバムや写真を見せながら、家族・親族・友人・知人を目の前で亡くした方、家や地域を奪われた方の思い、無念さを被災地の人々が語ります。



＝「いまがありがたい…」感謝とありがたさへの目覚め＝

いま生きているということ…。震災で家を流され、多くの大切な人を奪われて、不自由な生活を強いられる中で、それでも、生き残った被災地の人々に広がる、いのちあることのありがたさ。瓦礫の残る不便な生活の中でも、いま生きていることへの感謝を被災地の人々が語ります。



＝失われたいのちに誓う＝

世帯数 300 程度の漁業と海水浴の町…。そこでは 3 分の 1 に当たる人命が行方不明者を含め、失われました。隣町では、被災を免れた家は数軒…。町は壊滅しました。塩屋岬の灯台を望む海岸線では、被災直後、親や子ども、友人や仲間を呼ぶ声が途切れることはなかったといいます…。その慰霊祭で語られた思い、願い、そして復興への誓い…。避難所にいた小学生の子どもは、言葉をさがしながら、「一時一時を大事にしていきたい…」と語ります。



監督・脚本・・・秀嶋 賢人

企画・制作・・・フォア・ザ・ワン・プロジェクト (<http://www.hideshima.co.jp>)

制作協力・・・(株)びえるプラス

2011年作品

p.

※この作品の収益の一部は、フォア・ザ・ワン・プロジェクトが推進する被災地支援協働プロジェクトの活動に充てられます。

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101